

テーン・ヴィチェットの翻訳

・日本でのインターンシップ

私の名前はテーン・ヴィチェットです。

1994年6月5日に生まれ、バンテア・リー・コルメル州 **Stoek Kasar** 村に住んでいます。現在、コンポンチュナン州にある電気技術専門学校の3年生です。「夢追う子どもたちの家」の卒園生として、私の履歴書を以下のように記載したいと思います：

私の名前はテーン・ヴィチェットです。

5人兄弟で4人の姉がいて、私は家族の中で一番年下です。

母親は私を出産したあとすぐに死亡したので、父と姉たちと一緒に生活していましたが、父と再婚した妻が私に暴力をふるうので、母親が残した家で姉と共に生活することになりました。生活はとても苦しかったです。私は、朝の休憩時間に非正規の学校に通っていました。生きていくためのお米、学校に行つて勉強するためのペンや本を購入するためのお金はありませんでした。

私は **School Aid Japan** と出会ったその時、人生がとても幸せになり始めました。そこには良い教育がありました。先生や保母さんは間違いがあったときにちゃんと教育してくれて、悪い習慣を修正し、良い方向へ導いてくれました。体のケアをしてくれました。（病気の時はいつも常に保母さんがいてくれました。）そして学ぶ時間がありました。（毎日学校に通つて、きちんと授業を受けさせてもらえました。）

一方、コンポンチュナンの農場 (**S A J F a r m**) では米を栽培するだけでなく、誕生日会、職業訓練、色々な作物の栽培などのプログラムを時間もありました。私は様々なことを学ぶことによって生きる術を学びました。これからの人生で私は徐々にお金を稼ぎ、家賃を払っていくつもりです。私は努力を続けていきます。そしてエンジニアになるという私の夢を叶えていきたいです。

私が日本に行きたいと思っている理由は、アジアの中でも有名な国である日本を知りたいからです。歴史、伝統、服装、メイクアップ、日本語を勉強したいと思っています。特に、人々の生活状況がカンボジアとどのように違うのかを知ることはと

でも重要だと思っています。日本の発展は、勤勉な日本の学生の成果であると思うので、日本人の勉強のレベルを知りたいと思っています。

そして私は富士山などの有名な名所を訪れたいと思っています。それは私の人生で一度しか行けないと思ったので、そこに行きたいと思っていました。

もう一つは、日本は経済大国になっているからです。教育においても最高です。日本は研究の最先端を進んでいて、科学も進歩しています。私が知りたいのは、自分の国民を勉強させる方法です。私は日本を発展させ、先進国のように成長するために、どのように勉強してきたのかをすべて知りたいのです。

また、私はいくつかの発電所や変電所に行き、何人かの先生が言っていることが真実であるかどうかを知りたいと思っています。先生たちから学んだことを私は自分自身の目で見て、確認するためにそれを見たいです。それらの場所は良い経験を得ることができます。勉強したい、研究したいという情熱が生まれ、日本への好奇心が強くなると思います。

最後に、私と大学生が日本に行く手配をしてくれた日本の事務局長とスタッフに感謝したいと思います。私は、日本に行って目的を達成します。